

地域と連携しSTEAM教育を推進 科学技術教育アドバイザーキックオフMTG



新しく科学技術教育アドバイザーに任命された研究者と、(前列左から)大和裕幸JAM STEC理事長、赤松政務官、赤池誠章参院議員、常田元国立天文台長、井上諭一科政局長ら

文部科学省は5月22日、科学技術教育アドバイザーキックオフミーティングを文科省科学技術・学術政策研究所大会議室で開催した。この制度は、地域と連携してSTEAM教育等を推進するため、文科省が国立研究開発法人等の推薦に基づき、研究者等を科学技術教育アドバイザーとして任命するもの。アドバイザーの活動事例としては▽専門性を活かした、実験等の出前授業▽学校等へのSTEAM教育の取組等に関する助言▽STEAM教育に資するイベント等の実施――が想定されている。任命制度は今年度より開始され、9機関より14名が任命されている。

はじめに赤松健文科大臣政務官が挨拶し「アドバイザーには、地域コミュニティや教育現場と積極的に連携し、専門と経験を生かして活動してもらいたい。本制度を通じて全国の子どもたちが最先端の科学技術に触れることで、科学技術に興味関心を持てる機会が創出されることを期待する」と述べた。



挨拶を述べる赤松政務官

より挨拶等が行われた。自然科学研究機構特別教授の常田佐久氏(前国立天文台長)は、日本の科学技術レベルの低下を指摘するとともに「Vカーブで回復させるため、挽回していく戦略が必要だ。文科省がこの政策を取ってくれたのは、戦略の一つとして非常に大事だと思う。挽回に我々も貢献していきたい」と意気込みを語った。

科学技術教育アドバイザーは次の通り。

【物質・材料研究機構】

小森 和範(国際・広報部門広報室主幹エンジニア)

【防災科学技術研究所】

李 泰榮(災害課程研究部門主任研究員)

池田 真幸(同部門契約研究員)

上田 啓瑚(社会防災研究領域総合防災情報センター特別研究員)

【量子科学技術研究開発機構】

加道 雅孝(NanoTerasu総括事務局広報グループリーダー)

橋本 雅史(関西量子科学研究所主任研究員)

池田 佳隆(QSTアソシエイト)

【理化学研究所】

河野 弘幸(広報部主事)

【宇宙航空研究開発機構】

谷垣 文章(宇宙教育センター長)

【海洋研究開発機構】

市原 盛雄(海洋STEAM推進課長)

【日本原子力研究開発機構】

鈴木 國弘(広報コーディネーター)

宮村 浩子(原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター人材育成推進室技術主幹)

【自然科学研究機構】

常田 佐久(共創戦略総括本部特任教授)

【国立極地研究所】

熊谷 宏晴(広報室長)